

【 第21回 女子ジュニア世界選手権 】

2018年6月29日～7月15日 開催地:ハンガリー

試合結果報告 7 月 5 日 (木)

| JPN | VS | ANG(アンゴラ) |
|-----|----|-----------|
| 17 | 前半 | 12 |
| 12 | 後半 | 13 |
| 29 | 合計 | 25 |

個人得点

| 名前 | 前半 | 後半 | 合計 |
|----------|----|----|----|
| 3 高木奈央 | | | 0 |
| 4 辻野桃佳 | | | 0 |
| 26 榎和奏 | | | 0 |
| 27 松浦志織 | | | 0 |
| 28 並木梨紗 | 2 | 1 | 3 |
| 29 大松澤彩夏 | 2 | | 2 |
| 31 鈴木姫らら | | | 0 |
| 32 金城ありさ | 1 | | 1 |
| 33 安藤かよこ | | 2 | 2 |
| 34 南夏津美 | | | 0 |
| 35 中山佳穂 | 5 | 2 | 7 |
| 36 相澤菜月 | 3 | 2 | 5 |
| 37 舟久保朱音 | | | 0 |
| 39 笠井千香子 | 1 | 2 | 3 |
| 40 笠泉里 | | | 0 |
| 41 金山桃歌 | | | 0 |
| 42 尾辻素乃子 | | | 0 |
| 51 吉留有紀 | 3 | 3 | 6 |
| | 17 | 12 | 29 |

戦評

3戦目はアンゴラと対戦。開始早々、アンゴラの力強い1対1に押し込まれ、日本はいきなり退場者を出してしまう。7mTを決められ先制点をアンゴラに許す。しかし、2分間を無失点で乗り切り、大松澤の速攻、相澤の鋭いカットインで得た並木の7mT、中山の意表をつくミドルで3連取した日本は、前半5分3-1とリードする。その後、アンゴラのパワフルなランニングシュート等で4-3と差を縮められるが、運動量を活かしたDFで相手のミス誘い、GK・榎の好セーブが続き、日本は速攻での得点を増やし7連取。前半15分11-3とリードを広げる。さらに突き放しにかかりたいところだが、全てがうまくいくわけではないのが世界選手権。日本はセットOFや速攻で、ノーマークを含めて立て続けにミスをしてしまい、アンゴラの速攻、パワフルなロングで失点を重ねる。気づけば前半26分、13-11と2点差まで詰め寄られる。その後、速攻でのノーマークをきっちり決めた日本はリードを広げることに成功し、17-12で前半を終える。

後半立ち上がり、笠井のポスト、相澤のミドル、吉留の速攻、GK・榎の好セーブなどで波に乗った日本は、後半11分24-13と一気にリードを広げる。その後、一進一退の攻防が続き、残り10分28-17と日本はリードを保つ。このまま日本ペースが続くかと思われたが、残り10分の間に4回もの退場者をだしてしまい、GKを外しての6人攻撃でノーマークを作り出す。再三セーブにあい無人ゴールへのシュートを含め7連続失点を喫す。お互いに1点ずつを取り合い、最終スコア29-25で日本チームが今大会初白星をあげた。

報告記入者 :

新井翔太